

SONY®

ICレコーダー 取扱説明書



インターネット上でヘルプガイド(Web取扱説明書)を閲覧できます(パソコン・スマートフォン用)。
ICレコーダーの詳しい使いかたや困ったときの対処方法を説明しています。
<http://rd1.sony.net/help/icd/u56/ja/>



ICD-UX560F / ICD-UX565F



安全のために

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取扱説明書」と「ヘルプガイド」(パソコン等で見える電子マニュアル)には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口修理を依頼する**

警告表示の意味

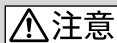
この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止

マニュアルについて



紙で見る

取扱説明書(本書)

ICレコーダーの基本操作(録音・再生・削除)や上手に録音、再生するための情報、困ったときの解決方法などを記載しています。

Sound Organizer 2

(サウンドオーガナイザー 2)を使う(別冊)

パソコンにインストールできるソフトウェア「Sound Organizer 2」のインストール方法やできること、基本的な操作方法などを記載しています。



パソコン
スマートフォン
タブレットで
見る

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ICレコーダーの楽しみかたや機能の詳細説明、困ったときの対処方法などをパソコンで調べることができます。

また、外出先などでスマートフォンやタブレット端末で調べることもできます。

閲覧は無料ですが、通信料は通信契約に依存します。

ICレコーダー サポート・お問い合わせページ(66 ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

目次

マニュアルについて	4
-----------------	---

準備する..... 6

準備1 箱の中身を確認する	6
準備2 各部のなまえを確認する	7
準備3 充電する	8
準備4 電源を入れる	10
準備5 初期設定をする	11
microSDカードを入れる	13

メニューの見かた..... 14

ホームメニューで 使いたい機能を選ぶ	14
オプションメニューで設定する	16

録音する..... 20

上手に録音するコツー ノイズの原因と対策	22
その他の方法で録音する	27
ラジカセ、テープレコーダー、テレビ などからICレコーダーへ録音する ...	30
ICレコーダーの音を 他の機器で録音する	31

再生する..... 32

その他の方法で再生する	34
-------------------	----

FMラジオを聞く..... 38

FMラジオ放送を録音する	42
FMラジオの設定を変更する	43

編集する..... 46

ファイルを削除する	46
ファイルを保護する	48
トラックマークを使う	51
ファイルを分割する	53
フォルダ内のファイルを整理する (ファイル移動/ファイルコピー) ..	54
各種設定を変更する	55
パソコンを活用する	59

困ったときは..... 60

症状から調べる	61
サポートページ/ ヘルプガイドについて	66
保証書とアフターサービス	67

その他..... 68

主な仕様	68
必要なシステム構成	72
使用上のご注意	73
著作権と商標について	78
ライセンスについて	79
索引	80
お問い合わせ窓口のご案内	82

準備する

準備1 箱の中身を確認する

はじめに、以下の同梱物が揃っているかを確認してください。

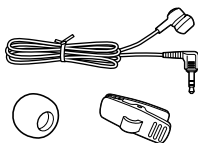
- 本体 (1)
- キャリングポーチ (1)



- 取扱説明書 (本書) (1)
- Sound Organizer 2 (サウンドオーガナイザー 2) を使う (1)
- 保証書 (1)
- 「製品登録」のすすめ (1)

以下の同梱物は、ICD-UX565Fのみ付属しています。

- USB ACアダプター (1)
- 電話録音用マイクロホン (1)

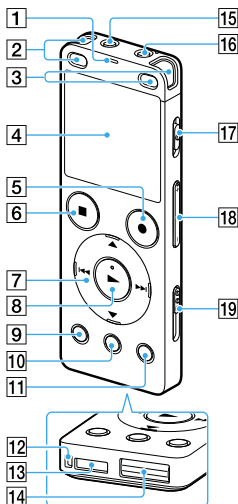


電話録音用マイクロホンに付属のクリップとウインドスクリーンを装着すると、ピンマイクとして使用できます。詳しくは、28ページをご覧ください。

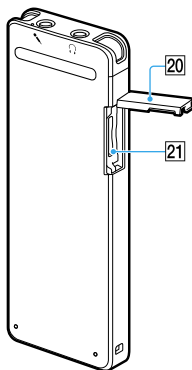
ICレコーダーの本体メモリーには、ソフトウェアSound Organizer 2が保存されています。Sound Organizer 1.6をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてお使いください。Sound Organizer 2のインストールについて、詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)をご覧ください。

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ICレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

準備2 各部のなまえを確認する



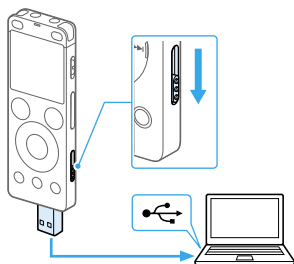
- 1 動作表示ランプ
- 2 内蔵マイク (L)
- 3 内蔵マイク (R)
- 4 表示窓
- 5 ●録音／一時停止ボタン
- 6 ■停止ボタン
- 7 コントロールボタン (▲DPC (速度調節)、▼◀ (リピート) A-B / ◀◀ (早戻し)、▶▶ (早送り))
- 8 ► (再生／決定) ボタン*
- 9 戻る／ホームボタン
- 10 トラックマークボタン
- 11 オプションボタン
- 12 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)
- 13 内蔵スピーカー
- 14 USB蓋 (USB端子はふたの中に格納されています。)
- 15 ♯ (ヘッドホン) ジャック
- 16 🎧 (マイク) ジャック*
- 17 電源・ホールドスイッチ
- 18 音量－／＋ボタン*
- 19 USBつまみ (スライド式USB端子用)
- 20 スロット蓋
- 21 microSDメモリーカードスロット
(スロット蓋の中にあります。)



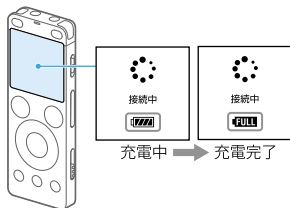
* 凸点 (突起) がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

準備3 充電する

- 1 側面のUSBつまみを矢印の方向へスライドさせて、USB端子を起動しているパソコンのUSBポートに差し込む。



充電が完了すると、電池マークが「FULL」と表示されます。



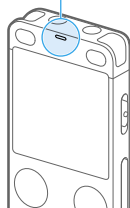
- 2 充電完了後、ICレコーダーをパソコンから取り外す。

動作表示ランプが消えていることを確認し、パソコンで取り外しの操作を行います。

Windowsの場合：タスクバー（パソコンの画面右下）にあるハードウェア取り外しアイコンをクリックして、[IC RECORDERの取り出し]をクリックしてください。

Macの場合：Finderのサイドバーの[IC RECORDER]の取り外しアイコンをクリックしてください。

動作表示ランプ



USB ACアダプターをつないで使う／充電する

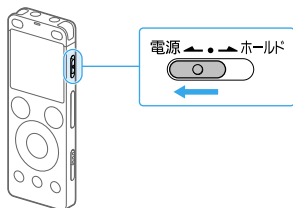
付属のUSB ACアダプター (ICD-UX565Fのみ) または別売りのUSB ACアダプター (AC-UD20など) を使って、家庭用電源コンセントにつないで充電することもできます。

充電をしながらICレコーダーを使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。

- ・ ICレコーダーは、電源を入れている状態でも入れていない状態でも充電できます。
- ・ はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「**FULL**」になるまで充電してください。電池を使いきった状態から約2時間半で充電が完了します。
- ・ パソコンから取り外す方法について詳しくは、ヘルプガイド (66 ページ)、またはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・ USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

準備4 電源を入れる

- 1 画面が表示されるまで、電源・ホールドスイッチを「電源」の方向へスライドさせる。



電源を切るには

画面に「電源オフ」と表示されるまで、電源・ホールドスイッチを「電源」の方向へスライドさせる。

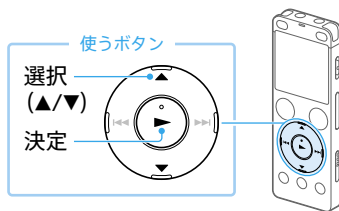
準備5 初期設定をする

お買い上げのあと、初めて電源を入れた際に「初期設定をしてください」と表示されます。

準備する

- 1 「はい」を選択した状態で、決定する。

時計設定画面が表示されます。



- 2 年(西暦)を選び、決定する。
同じ操作を繰り返し、月、日、時、分の順に設定する。



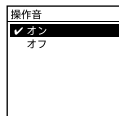
- 3 分を設定したら、「次へ」を選び、決定する。

操作音の設定画面が表示されます。



- 4 「オン」または「オフ」を選び、決定する。

設定が完了すると、ホームメニュー画面が表示されます。



- ・ 戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。
- ・ それぞれの手順の間を30秒以上あけると、画面表示が自動的に消えます。初期設定を引き続き行う場合は、戻る／ホームボタンを押してください。
- ・ 時計設定と操作音設定は、ホームメニュー(14 ページ)→「 各種設定」→「共通設定」で後から変更もできます。

誤操作を防止する(ホールド)

持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作することを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます。

電源・ホールドスイッチを「ホールド」の方向にスライドさせます。



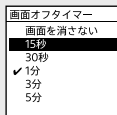
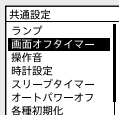
電源が入っているときに操作すると、「ホールド」と約3秒間表示されます。



電池の消耗を低く抑える(画面オフタイマー)

お買い上げ時の設定では、電池の消耗を抑えるために「画面オフタイマー」が「30秒」に設定されています。操作をしないまま約30秒経過すると、画面表示が消えます。画面表示が消えた状態でも、ボタン操作を行うことができます。画面を表示したいときは、戻る／ホームボタンを押します。

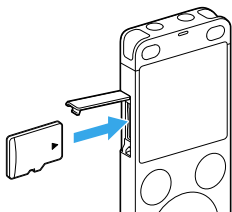
画面オフに入るまでの時間を変更するには、ホームメニュー(14 ページ)→「 各種設定」→「共通設定」→「画面オフタイマー」で、「画面を消さない」または「15秒」、「30秒」、「1分」、「3分」、「5分」から選んでください。



microSDカードを入れる

ICレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに別売りのmicroSDカードへ音声を保存することができます。

- 1 停止中に、microSDカードをメモリーカードスロットにカチッと音がするまでしっかり差し込む。
microSDカードの端子面を奥にして差し込んでください。



- 2 スロット蓋を閉める。

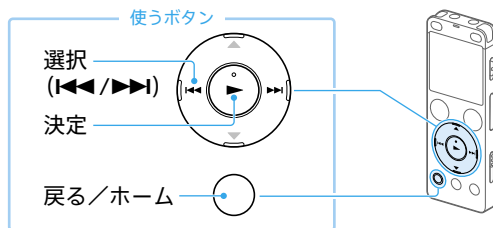
以下のmicroSDカードを使用できます。

microSDHCカード	4 GB ~ 32 GB
microSDXCカード	64 GB以上

メニューの見かた

ホームメニューで使いたい機能を選ぶ

ICレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューです。
ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更したり
することができます。



- 1 戻る／ホームボタンを長押しする。
ホームメニュー画面が表示されます。
ホームメニューは、15ページの図
の順序で並んでいます。
- 2 使いたい機能を選択して、決定す
る。



ホームメニューで選べる機能

以下の機能が選べます。



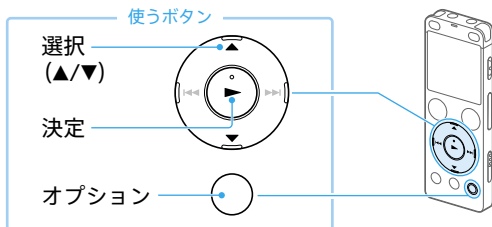
🎵 ミュージック	パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。音楽ファイルは、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。
📄 録音したファイル	ICレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。録音したファイルは、「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」または「フォルダ」のいずれかの方法から探せます。
🎙️ 録音	録音画面を表示します。録音を開始するには、●録音／一時停止ボタンを押します。
📻 FMラジオ	FMラジオ画面を表示して、FMラジオを聞いたり、録音したりすることができます。
🛠️ 各種設定	ICレコーダーのさまざまな設定(17 ページ)を変更できます。
🔄 XX画面へ*	ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

* XXには、現在使用している機能が表示されます。

ホームメニューで操作中に■停止ボタンを押すと、ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。

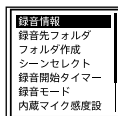
オプションメニューで設定する

オプションボタンを押すと、使用している機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。



- 1 ホームメニュー(14 ページ)で機能を選んだあと、オプションボタンを押す。

使用している機能のオプションメニュー(18 ページ)が表示されます。



例) 録音停止時のオプションメニュー表示

- 2 設定したい項目を選び、決定する。
- 3 設定内容を選び、決定する。

- ・ 画面によっては、オプションメニューが表示されないこともあります。
- ・ メニュー操作中に戻る／ホームボタンを押すと、前の画面に戻ります。

各種設定メニュー一覧

ホームメニュー(14 ページ)で「 各種設定」を選んでいるときに選択可能なメニューです。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
録音設定	録音先フォルダ	21
	フォルダ作成	49
	シーンセレクト	23
	録音モード	25
	内蔵マイク感度設定	25
	外部入力設定	26
	録音フィルター	26
	VOR	27
	シンクロ録音	30
	自動トラックマーク	28
再生設定	クリアボイス	33
	エフェクト	37
	イージーサーチ	34
	再生モード	36
	再生範囲設定	36
FMラジオ設定	録音先フォルダ(FMラジオ)	43
	フォルダ作成	49
	録音モード(FMラジオ)	43
	スキャン感度	41
	音声出力選択	41
	プリセットリスト選択	44
	地域設定	44
	自動トラックマーク(FMラジオ)	28
共通設定	ランプ	55
	画面オフタイマー	55
	操作音	55
	時計設定	56
	スリープタイマー	56
	オートパワーオフ	57
	各種初期化	57
	録音可能時間	58
	本体情報	58

オプションメニュー一覧

録音

録音中や録音停止中に表示できません。

条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
録音情報	26
録音先フォルダ*	21
フォルダ作成	49
シーンセレクト	23
録音開始タイマー	27
録音モード*	25
内蔵マイク感度設定	25
外部入力設定	26
録音フィルター	26
VOR	27
1ファイル削除	46

録音したファイル

録音したファイルの一覧を表示させているときや再生中、再生停止中に表示できます。

条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	35
書き起こし終了	35
クリアボイス	33
エフェクト	37
イージーサーチ	34
イージーサーチ間隔設定	34
再生モード	36
再生範囲設定	36
1ファイル削除	46
リスト内全削除	46
フォルダ内全削除	46
保護	48
保護解除	48
トラックマーク一覧	35
トラックマーク削除	52
分割	53
ファイル移動/コピー	54
ファイル名変更	50
ファイル情報	37
フォルダ作成	49
フォルダ削除	47
フォルダ名変更	50

ミュージック

パソコンから転送した音楽ファイルの再生中、再生停止中に表示できません。

条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
書き起こし用再生	35
書き起こし終了	35
エフェクト	37
イージーサーチ	34
イージーサーチ間隔設定	34
再生モード	36
再生範囲設定	36
1ファイル削除	46
リスト内全削除	46
フォルダ内全削除	46
保護	48
保護解除	48
トラックマーク一覧	35
トラックマーク削除	52
ファイル情報	37

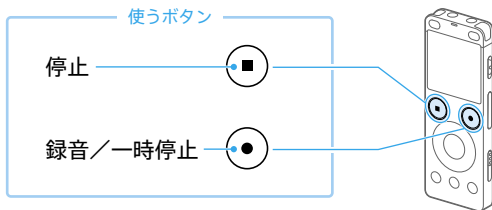
FMラジオ

FMラジオ画面で表示できます。

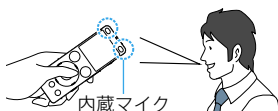
条件によっては表示されない項目もあります。

オプションメニュー名	参照ページ
録音先フォルダ ^① (FMラジオ)	43
録音モード (FMラジオ)	43
プリセットに登録	43
プリセットを解除	44
スキャン感度	41
音声出力選択	41
プリセットリスト選択	44
地域設定	44
放送局名変更	45
オートプリセット	45

録音する



- 1 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

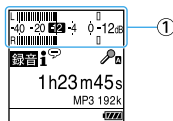


- 2 録音／一時停止ボタンを押す。

録音 が表示されて録音が始まり、動作表示ランプが赤く点灯します。

録音中は、録音レベルのピークメーター①が表示されます。

図のように、録音中の入力レベルが、ピークメーターの-12 dB付近になるように、内蔵マイクの方向や音源からの距離を調節したり、内蔵マイクの感度を設定(25 ページ)したりして、音源に合った適切な範囲に調節してください。



- 3 録音を止めるには、停止ボタンを押す。

- ・「FOLDER01」以外のフォルダに録音したいときは、新しくフォルダを作成してください(49 ページ)。作成したフォルダに録音するには、録音停止中にオプションメニュー→「録音先フォルダ」→「メモリー選択」画面で「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、フォルダを指定してください。
- ・録音停止後すぐに▶ ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。
- ・別売りのステレオヘッドホンを○(ヘッドホン) ジャックにつないで、録音中の音を確認しながら録音することをおすすめします。
- ・ファイルは、録音開始日時に録音モードの拡張子が付いたもの(例: 151010_0706.mp3)がファイル名となります。
- ・再生または停止中に録音ボタンを長押しすると、録音一時停止状態となります。不要な音声データを録音することなく録音レベルを調整するときに便利です。
- ・録音の途中でファイルサイズの上限(LPCMは4 GB、MP3は1 GB)を超えてしまう場合は、ファイルが分割されます。分割された位置の前後で音切れが発生する場合があります。

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。

録音環境は人や状況、場所によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。

ためし録りは大切な録音を失敗しないため、また録音環境を整えて理想の音質に近づけるために大変有効なものです。

上手に録音するコツーノイズの原因と対策

ノイズとして録音される可能性のある音について

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。



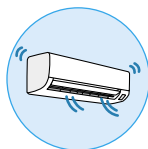
触れたときの音



机に当たる音



衣服と擦れる音



エアコンやパソコンなどの動作音や振動



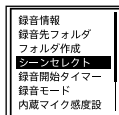
マイクにあたる吐息

録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況や録音シーンに合わせて、次の機能をお使いください。
 - － シーンセレクト (23 ページ)
 - － 録音モード (25 ページ)
 - － 内蔵マイク感度設定 (25 ページ)
 - － 録音フィルター (26 ページ)

シーンセレクト機能を使う

シーンセレクト機能は、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り替えることができます。



録音停止中にオプションメニューで「シーンセレクト」→用途に合った項目（シーン）を選ぶ。

• おまかせボイス

入力音声レベルを判断して適正な感度で録音します。

感度設定を間違えて再生時によく聞こえないなどの録音ミスを少なくします。（お買い上げ時の設定）

「おまかせボイス」は人の声（音声）に特化した設定項目ですが、くしゃみや静かな会話からの急な笑い声など、突発的な大きな音が入力された場合は、音がひずむことがあります。

• 会議

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。ハンカチなどの上にICレコーダーをのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。発言者に近い場所で録音してください。



• 講演

講演会や講義を録音するときに適しています。マイクを音源の方向に向けて録音します。別売りの指向性マイクを使用することで、録りたい音声を狙って録音することができます。



• ボイスメモ

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。



• インタビュー

インタビューや少人数での打ち合わせなど、1m～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。



• 歌・音楽

合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を1m～2mくらいの距離で録音するときに適しています。ICレコーダーをピアノの上のせて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。ICレコーダーをピアノから1m～2m離して録音してください。



• バンド(大音量)

大きな音のバンド練習やカラオケなどの録音を1m～2mくらいの距離で録音するときに適しています。



- ・ このほか「 Myシーン1」、「 Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。
- ・ 設定したシーンは録音画面に表示されます。
シーンを設定しても、「録音モード」や「マイク感度」の設定は変更可能です。
この場合、シーンアイコンの横に*マークが表示されます。
- ・ 登録されているシーンは、すべての環境に対応しているわけではありません。環境に合ったシーンがない場合は、「 Myシーン1」や「 Myシーン2」をご使用ください。

録音モードを変更する

録音するファイルの録音モード(音質など)を設定できます。

録音情報
録音先フォルダ
フォルダ作成
シーンセレクト
録音開始タイマー
録音モード
内蔵マイク感度設

- ① 録音停止中にオプションメニュー→「録音モード」を選ぶ。
- ② お好みの項目を選び、決定する。

LPCMやMP3など、音質を選びます。音質が気になる場合は、LPCM 44.1kHz/16bit またはMP3 192kbpsをおすすめします。

内蔵マイク感度設定を変更する

内蔵マイクのマイク感度を設定できます。マイク感度を下げると、周囲の音がノイズとして録音されにくくなります。

録音情報
録音先フォルダ
フォルダ作成
シーンセレクト
録音開始タイマー
録音モード
内蔵マイク感度設

- ① 録音停止中にオプションメニュー→「内蔵マイク感度設定」を選ぶ。
- ② 「音声用」または「音楽用」を選び、決定する。
- ③ お好みの項目を選び、決定する。

手順2で「音声用」を選ぶと、▲または▼ボタンで「高」、「中」または「低」を選択し、◀◀または▶▶ボタンで「フォーカス」や「ワイド」などの設定をすることができます。

「フォーカス」を選ぶと、左右の音を抑えてズーム感を出すことができます。「ワイド」を選ぶと、左右方向からの音が強調され、複数人の音声聞き取りやすくなります。

外部機器の入力モードと入力感度を設定する(外部入力設定)

🔊(マイク)ジャックから録音する際の外部入力の設定(「MIC IN」、「Audio IN」または「電話用マイク」と、「MIC IN」の感度設定を行います。

録音先フォルダ
フォルダ作成
シーンセレクト
録音開始タイマー
録音モード
内蔵マイク感度設
外部入力設定

- ① 録音停止中にオプションメニュー→「外部入力設定」を選ぶ。
- ② お好みの項目を選び、決定する。

MIC IN *	🔊(マイク)ジャックに外部マイクをつないだときに選びます。
Audio IN	🔊(マイク)ジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。
電話用マイク	電話機や携帯電話の音声を録音するときに選びます。(29 ページ)

* お買い上げ時の設定

ノイズを軽減して録音する(録音フィルター)

録音フィルターを設定するとノイズを軽減した録音ができます。

フォルダ作成
シーンセレクト
録音開始タイマー
録音モード
内蔵マイク感度設
外部入力設定
録音フィルター

- 録音停止中にオプションメニュー
→「録音フィルター」→お好みの設定を選ぶ。

オフ	録音フィルターを解除します。
NCF (Noise Cut)	音声以外の周波数の音をカットします。
LCF (Low Cut)	低い周波数の音をカットします。

録音情報を表示する

録音可能時間や録音先のメモリーやフォルダの設定などを表示します。

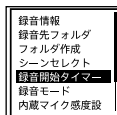
録音可能時間：
65h43m21s
録音先メモリー：
内蔵メモリー
録音先フォルダ：
FOLDER01

- 録音停止中に、オプションメニュー→「録音情報」を選ぶ。

その他の方法で録音する

録音開始タイマーを使う

設定された時間が経過すると、自動的に録音を開始します。

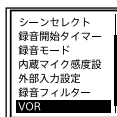


録音停止中にオプションメニュー → 「録音開始タイマー」 → 録音を開始するまでの時間を選ぶ。

15秒から60分まで設定できます。

音がしたとき自動録音する (VOR録音)

VOR (Voice Operated Recording) 録音は、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時的に停止する機能です。

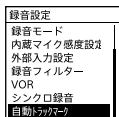


録音停止中に、オプションメニュー → 「VOR」 → 「オン」を選ぶ。

- ・ 「オン」を選んだあとに録音を開始してください。
 - ・ VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り替えてください。
- マイク感度を切り替えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。

自動的にトラックマークを付ける

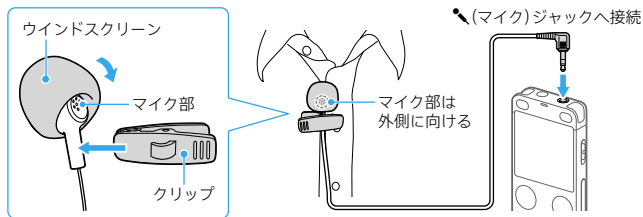
通常録音またはFMラジオ録音時にトラックマーク(51 ページ)をお好みの間隔で自動的に付けられます。



- ① ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「録音設定」 → 「自動トラックマーク」を選ぶ。
FMラジオの場合は、ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「FMラジオ設定」 → 「自動トラックマーク(FMラジオ)」を選ぶ。
- ② 「間隔設定」を選び、トラックマークを付ける間隔(5分、10分、15分、30分)を設定する。
設定が「オン」になります。

付属の電話録音用マイクロホンをピンマイクとして使用する (ICD-UX565Fのみ)

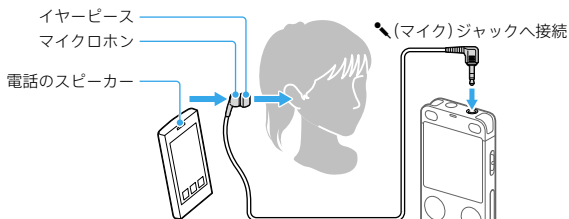
電話録音用マイクロホンに付属のクリップとウインドスクリーンを装着すると、ピンマイクとして使用できます。



- ① 電話録音用マイクロホンにクリップを取り付ける。
- ② マイク部にウインドスクリーンをかぶせる。
- ③ 電話録音用マイクロホンをICレコーダーの (マイク) ジャックにつなぐ。
- ④ マイク部を外側に向けて、ワイシャツなどにクリップで固定する。
- ⑤ ICレコーダーの録音停止中にオプションメニュー → 「外部入力設定」 → 「MIC IN」を選ぶ。

電話機や携帯電話の音声を録音する

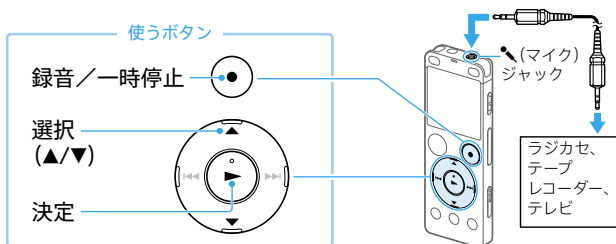
付属の電話録音用マイクロホン(ICD-UX565Fのみ)、または別売りのECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。



- ①ICレコーダーの●(マイク)ジャックに電話録音用マイクロホン、または別売りのECM-TL3をつなぐ。
- ②録音停止中にオプションメニュー→「外部入力設定」→「電話用マイク」を選ぶ。
- ③電話のスピーカーを電話録音用マイクロホン、または別売りのECM-TL3のマイク部にあてる。

ラジカセ、テープレコーダー、テレビなどからICレコーダーへ録音する

シンクロ録音機能を使うと、2秒以上の無音部分が続いた場合に、録音一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音を行います。



1 他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を市販のオーディオコードを使って、ICレコーダーの(マイク)ジャックにつなぐ。

2 録音停止中にオプションメニューから「外部入力設定」画面で「Audio IN」を選ぶ。



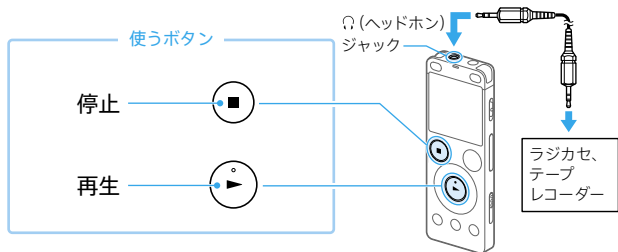
3 シンクロ録音機能の確認画面で「はい」を選ぶ。

4 録音／一時停止ボタンを押す。

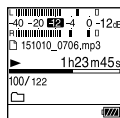
■ が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

5 接続先の▶ (再生)ボタンを押す。
録音 が表示され、シンクロ録音を開始します。

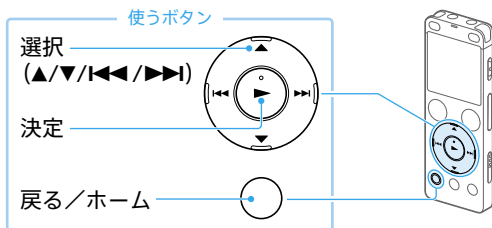
ICレコーダーの音を他の機器で録音する



- 1 ICレコーダーの Ω (ヘッドホン) ジャックと他の機器の外部入力端子を、市販のオーディオコードを使ってつなぐ。
- 2 録音したいファイルを選択して再生状態にし、同時に、つないだ機器を録音状態にする。
- 3 録音を止めるには、つないだ機器の録音を停止し、もう一度ICレコーダーの停止ボタンを押して再生を停止する。



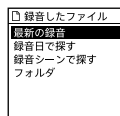
再生する



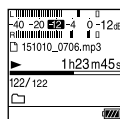
- 1 ホームメニュー(14 ページ)で「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選び、決定する。



- 2 選択ボタンを押してファイルを検索する方法を選ぶ。
「フォルダ」を選んだ場合は、ファイルの保存先のメモリを選んで決定します。



- 3 再生したいファイルを選び、決定する。
ファイルが再生されます。

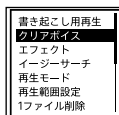


- 4 再生を止めるには、 停止ボタンを押す。

- ・ 音量を調節するには、音量－／＋ボタンを押します。
- ・ 内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売りのヘッドホンを使用してください。

雑音を低減して音声を聞きやすくする(クリアボイス)

録音したファイルの音声以外の周辺ノイズをカットするため、クリアな音質で再生できます。



再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「クリアボイス」 → お好みの設定を選ぶ。

オフ	クリアボイス機能を解除します。
クリアボイス1 Voice1	音声以外のノイズを低減し、声の大きさを自動調整して聞きやすいクリアな音になります。
クリアボイス2 Voice2	「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。

内蔵スピーカーで再生しているときや、「🎵ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

再生速度を調節する (DPC)

DPC (Digital Pitch Control) 機能を使うと、再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生されます。



- ① 再生停止中／再生中に、▲DPC (速度調節) ボタンを押す。
- ② ◀◀または▶▶ボタンを押し、再生速度を選択する (0.05倍速刻み (×0.25 ~ ×1.00)、または0.10倍速刻み (×1.00 ~ ×3.00))。
- ③ ▲または▼ボタンを押して「オン」を選ぶ。

その他の方法で再生する

録音直後に再生する

録音を停止したあとに、録音停止画面で▶ボタンを押す。

再生中に早送り／早戻しする(キュー／レビュー)

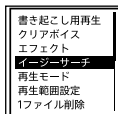
再生停止中／再生中に、◀◀(早戻し・レビュー)または▶▶(早送り・キュー)ボタンを押したままにして、聞きたいところで離す。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

聞きたいところをすばやく探す(イージーサーチ)

イージーサーチ機能を使うと、再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

早送り／早戻しの間隔を設定することで長時間録音したものでも聞きたいところをすばやく探すことができます。



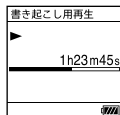
再生停止中／再生中に、オプションメニュー→「イージーサーチ」→お好みの設定を選ぶ。

オフ	イージーサーチ機能を無効にします。
オン	「間隔設定」で設定した間隔で再生を進めたり戻したりできます。
間隔設定	「イージーサーチ送り」で▶▶ボタンを押したときに進む間隔を、「イージーサーチ戻し」で◀◀ボタンを押したときに戻る間隔を設定します。この設定を行ってから、「オン」を選びます。

詳しい設定方法についてはヘルプガイド(66 ページ)をご覧ください。

録音を書き起こす(書き起こし用再生)

書き起こし用再生機能を使うと、録音した1つのファイルを早送り／早戻ししながら聞きたい箇所を探せるので、議事録などを書き起こすときに便利です。書き起こし用再生中はファイルが繰り返し再生されます。

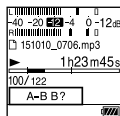


- ① 再生停止中に、オプションメニュー → 「書き起こし用再生」を選ぶ。
- ② ▶ ボタンを押して再生を開始する。

- ・ 書き起こし用再生中は働かない機能があります。詳しくはヘルプガイド(66ページ)をご覧ください。
- ・ 書き起こし用再生中または停止中に、オプションメニューから「書き起こし終了」を選ぶと、書き起こし用再生が終了して通常の再生になります。

必要な部分だけを再生する(A-Bリピート)

指定したA点とB点の区間を繰り返し再生します。

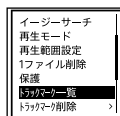


- ① 再生停止中／再生中に、▼ ⇐ A-Bボタンを押して、A点を指定する。
- ② もう一度▼ ⇐ A-Bボタンを押して、B点を指定する。
指定した区間が繰り返し再生されます。
- ③ 通常の再生に戻すには、▼ ⇐ A-Bボタンをもう一度押す。

再生停止中、A点を指定したあと、同じ場所にB点を指定することはできません。この場合、A点がキャンセルされます。

トラックマーク一覧から目的の再生位置を探す

トラックマーク一覧に表示されたトラックマークから、目的の再生位置を簡単に探すことができます。



再生停止中／再生中に、オプションメニュー→「トラックマーク一覧」→目的のトラックマークを選ぶ。

再生モードを変える

用途に応じて、1ファイルのみの再生やリピート再生などの再生モードを選べます。

書き起こし用再生
クリアボイス
エフェクト
イージーサーチ
再生モード
再生範囲設定
1ファイル削除

再生停止中／再生中に、オプションメニュー→「再生モード」
→お好みの設定を選ぶ。

 ノーマル	再生範囲のファイルを順に再生します。
 リピート	再生範囲のファイルを順に繰り返し再生します。
 1ファイル再生	再生中または再生を始めたファイルだけを再生します。
 1ファイルリピート	再生中または再生を始めたファイルを繰り返し再生します。
 シャッフル	再生範囲の曲を順不同に再生します。
 シャッフルリピート	再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生します。

再生範囲を指定する

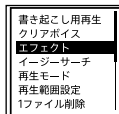
「 録音したファイル」からファイルの検索方法(「最新の録音」、「録音日で探す」、「録音シーンで探す」、「フォルダ」)を選択して、表示された再生リストの中から再生する範囲を指定できます。

書き起こし用再生
クリアボイス
エフェクト
イージーサーチ
再生モード
再生範囲設定
1ファイル削除

- ①再生停止中／再生中に、オプションメニュー→「再生範囲設定」を選ぶ。
- ②「全範囲を再生」または「選択範囲内を再生」から選ぶ。

全範囲を再生	録音したファイルの再生、ミュージック再生で選んだ検索方法の対象となるファイルをすべて再生します。
 選択範囲内を再生	再生中のファイルを含むフォルダ(録音日、録音シーン、アーティスト、アルバムなど)の中のファイルを再生します。

音質を切り替える(エフェクト)



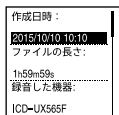
再生停止中／再生中に、オプションメニュー → 「エフェクト」 → お好みの音質を選ぶ。

オフ	エフェクト機能を無効にします。
ポップス III P	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ロック III R	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ジャズ III J	高域を強調した張りのある音質になります。
ベース1 III BA1	低音が強調されます。
ベース2 III BA2	低音が更に強調されます。
カスタム III C	5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。

内蔵スピーカーで再生しているときは、エフェクト機能は働きません。

ファイル情報を表示する

ICレコーダーで録音したファイルの情報(ファイルの長さや録音モード、作成日時など)を確認できます。



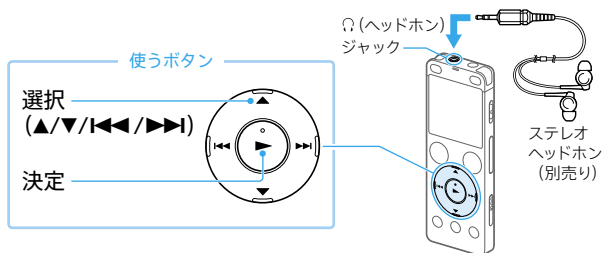
停止中に、オプションメニュー → 「ファイル情報」を選ぶ。
▲または▼ボタンを押して情報を切り替える。

ファイル情報として表示される項目について、詳しくはヘルプガイド(66ページ)をご覧ください。

FMラジオを聞く

ヘッドホンをつないでFM放送を聞きます。

ヘッドホンがFMアンテナの役割をします。○(ヘッドホン) ジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。内蔵スピーカーで聞くとときも、ヘッドホンをつないでお使いください。



1 別売りのヘッドホンを○(ヘッドホン) ジャックにつなぐ。

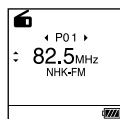
2 ホームメニュー(14 ページ)で「 FMラジオ」を選び、決定する。

初めてお使いになるときは、画面に従って地域設定をしてください。



3 受信したい地域を選び、決定する。

4 登録されている放送局を選ぶ(プリセット放送局)。



5 FMラジオを止めるには■停止ボタンを押す。

地域一覧

エリア	地域
北海道	北海道(札幌) 北海道(函館) 北海道(旭川) 北海道(帯広) 北海道(釧路) 北海道(北見) 北海道(室蘭)
東北	青森 岩手 秋田 宮城 山形 福島
関東	埼玉 千葉 東京 神奈川 茨城 栃木 群馬
中部	山梨 長野 静岡
東海	愛知 岐阜 三重
北陸	新潟 富山 石川 福井
近畿	大阪 京都 兵庫 滋賀 奈良 和歌山
中国	鳥取 島根 岡山 広島 山口
四国	徳島 香川 愛媛 高知
九州	福岡(福岡) 福岡(北九州) 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島 沖縄

各地域設定で登録される放送局名については、ヘルプガイド(66 ページ)をご覧ください。

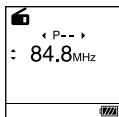
プリセット登録されている放送局から選局する(プリセット選局)

FMラジオ放送局がプリセット登録されているときは、プリセット番号で選局できます。



- ① ホームメニュー (14 ページ) で「 FMラジオ」を選ぶ。
- ② お好みの放送局のプリセット (P) 番号が表示されるまで、
◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押し続けて選局する。
受信している周波数に放送局名が登録されている場合は、
放送局名が表示されます。

放送局を周波数で選局する(マニュアルスキャン選局)



- ① ホームメニュー (14 ページ) で「 FMラジオ」を選ぶ。
- ② ▲または▼ボタンを繰り返し押し続けて選局する。

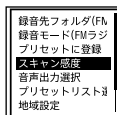
オートスキャン選局するには

手順2で、▲または▼ボタンを画面上の周波数が変わり始めるまで長押しすると、周波数をスキャンし、放送を受信すると自動的に停止します。

放送を受信できない場合は、▲または▼ボタンを1回ずつ繰り返し押し続けてください。

スキャン感度を切り換える

プリセット時のスキャン感度を設定できます。



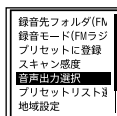
- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「スキャン感度」を選ぶ。
- ② 「高(SCAN H)」または「低(SCAN L)」を選ぶ。

高(SCAN H)*	スキャン感度を高くします。
低(SCAN L)	スキャン感度を低くします。

* お買い上げ時の設定

音声の出力先を切り換える

FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中に、メニューで音声の出力先を内蔵スピーカーあるいは別売りのヘッドホンへ切り換えることができます。



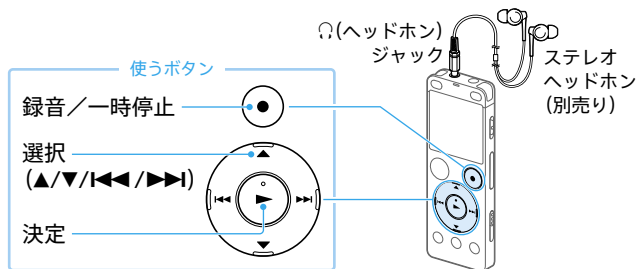
- ① FMラジオ受信中またはFMラジオ録音中にオプションメニュー → 「音声出力選択」を選ぶ。
- ② 「ヘッドホン」または「スピーカー」を選ぶ。

ヘッドホン*	音声はヘッドホンから出力されます。
スピーカー	音声は内蔵スピーカーから出力されます。

* お買い上げ時の設定

ヘッドホンがFMアンテナの役割をします。内蔵スピーカーで聞くとときも、ヘッドホンをつないでお使いください。

FMラジオ放送を録音する



- 1 別売りのヘッドホンをヘッドホンジャックにつなぐ。
- 2 録音したい放送局を選局する。
プリセット選局、マニュアルスキャン選局、またはオートスキャン選局のいずれかの方法で選局します。
- 3 録音／一時停止ボタンを押す。
録音が始まります。
- 4 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。



- ・ FMラジオ録音中は、シーンセレクト、内蔵マイク感度の設定、録音フィルター機能、VOR機能は働きません。
- ・ 初期設定では、「 録音したファイル」の「RADIO01」フォルダ内に録音されます。
- ・ ファイルは、録音開始日時に放送局名と録音モードの拡張子が付いたもの (例: 151010_0706_NHK-FM.mp3) がファイル名となります。

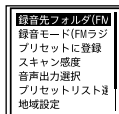
FMラジオの設定を変更する

FMラジオのオプションメニューから、FMラジオの受信や録音に関する設定を変更します。

録音先フォルダを変更する

FMラジオの録音先フォルダを変更できます。

- * お買い上げ時の設定では、「 録音したファイル」の「RADIO01」フォルダ内に録音されます。



- ① オプションメニュー → 「録音先フォルダ(FMラジオ)」を選ぶ。
- ② 「メモリー選択」で「内蔵メモリー」または「SDカード」を選び、フォルダを指定する。

録音モードを変更する

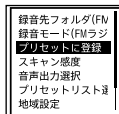
FMラジオの録音モードを変更できます。

オプションメニュー → 「録音モード(FMラジオ)」を選び、好みの録音モードを選びます。

- ・ MP3 192kbps / MP3 128kbps / MP3 48kbps (MONO) から選択できます。
お買い上げ時は「MP3 192kbps」に設定されています。
- ・ FMラジオ放送は、LPCMで録音できません。

手動でプリセット登録する

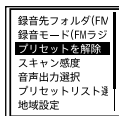
プリセットリストに登録されていないFMラジオ放送局をプリセット登録できます。



- ① ホームメニュー (14 ページ) → 「 FMラジオ」を選ぶ。
- ② プリセット登録したい放送局を選局する。
新たにプリセット登録できる放送局は、「P--」と表示されません。
- ③ オプションメニュー → 「プリセットに登録」を選ぶ。
放送局がプリセット登録されます。

プリセット登録を解除する

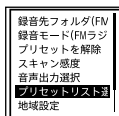
プリセットリストに登録されているFMラジオ放送局のプリセット登録を解除できます。



- ① ホームメニュー (14 ページ) → 「FMラジオ」を選び、
▶ ボタンを押して決定する。
- ② 登録を解除したい放送局のプリセット (P) 番号が表示されるまで、◀◀または▶▶ボタンを繰り返し押して選局する。
- ③ オプションメニュー → 「プリセットを解除」を選ぶ。
プリセット番号が「P--」へ変わります。

プリセットした地域設定を切り換える(プリセットリスト選択)

プリセットリストに登録した地域設定を選んで、お使いになる地域の放送局を受信できます。

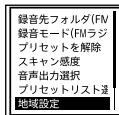


- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「プリセットリスト選択」を選ぶ。
- ② お好みのプリセット地域を選ぶ。

地域を指定して登録する(地域設定)

ICレコーダーでは、3つのプリセットリストに受信する地域を登録し、切り換えて使用できます。

お住まいの地域のほかに出張や旅行などで訪れる地域の設定をしておくと、設定した地域に移動した際、簡単にその地域のラジオ局を受信できます。地域設定画面はお買い上げ後初めてFMラジオをお使いになるときに表示されますが、メニューからも選ぶことができます。

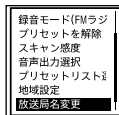


- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「地域設定」を選ぶ。
- ② お好みの地域を選ぶ。
プリセットリストの上書きを確認するメッセージが表示されます。
- ③ 「はい」を選ぶ。

新たに地域を登録したい場合は、あらかじめ「プリセットリスト選択」で「地域未設定」を選択してから、地域設定を行ってください。

放送局名を変更する(放送局名変更)

地域設定がされていると、プリセット登録した放送局に対して、放送局名を変更できます。

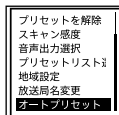


- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「放送局名変更」を選ぶ。
- ② 放送局名を選ぶ。

- ・ 放送局を表示したくない場合は、手順2で「設定なし」を選びます。
- ・ 選択したプリセットリストが地域設定されていない場合は、操作できません。

自動でプリセット登録する(オートプリセット)

現在選択しているプリセットリストの地域で受信できるFMラジオ放送局を検出し、プリセット番号に自動で登録できます。最大30件まで登録できます。

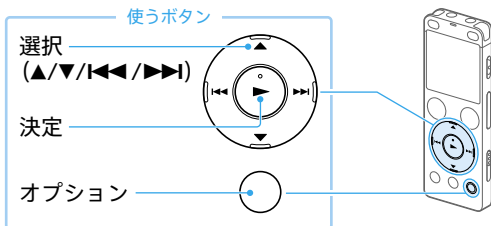


- ① FMラジオ受信中にオプションメニュー → 「オートプリセット」を選ぶ。
プリセットの上書きを確認するメッセージが表示されます。
- ② 「はい」を選ぶ。
受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。
オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

- ・ すでにプリセット登録されているFMラジオ放送局がある場合、プリセットが上書きされます。
- ・ 設定途中でオートプリセットをやめるには、手順2で「いいえ」を選びます。

編集する

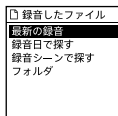
ファイルを削除する



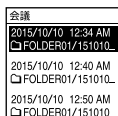
- 1 ホームメニュー(14 ページ)で「 録音したファイル」または「 ミュージック」を選び、決定する。



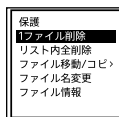
- 2 選択ボタンを押してファイルを検索する方法を選ぶ。
「フォルダ」を選んだ場合は、ファイルの保存先のメモリを選んで決定します。



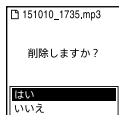
- 3 削除したいファイルを選ぶ。



4 オプションボタンを押し、オプションメニュー(16 ページ)から「1ファイル削除」、「リスト内全削除」または「フォルダ内全削除」を選ぶ。



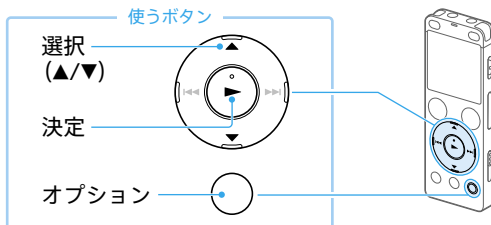
5 「はい」を選び、決定する。



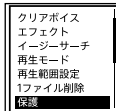
- ・一度削除したファイルはもとに戻すことはできません。
- ・保護設定されているファイルは、削除できません。保護設定を解除してから操作してください(48 ページ)。
- ・手順1で「 録音したファイル」を選び、フォルダ選択画面でオプションメニューから「フォルダ削除」を選ぶと、選んだフォルダとフォルダの中身を一度に削除できます。ただし、フォルダ内にサブフォルダが存在する場合は、サブフォルダと中に保存されているファイルは削除されません。

ファイルを保護する

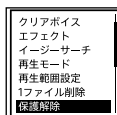
大事なファイルを間違って削除、編集することがないように保護できます。



- 1 再生停止中にオプションボタン
を押し、「保護」を選ぶ。



- 2 保護を解除するには、保護された
ファイルを選んでオプションボ
タンを押し、「保護解除」を選ぶ。



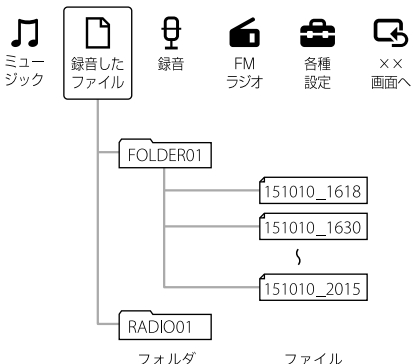
保護されたファイルは、再生画面で🔒(保護)マークが表示されます。

フォルダとファイルについて

ICレコーダーで録音した音声ファイルは、フォルダに保存されます。
初期設定では、下記のフォルダが自動的に作成されます。

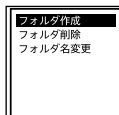
「FOLDER01」：マイク録音したファイルが保存されます。

「RADIO01」：ラジオ録音したファイルが保存されます。



フォルダを作成する

「 録音したファイル」内にはフォルダを作成することができます。



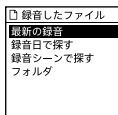
- ① ホームメニュー → 「 録音したファイル」→ ファイルの検索方法で「フォルダ」を選ぶ。
- ② 「フォルダ」画面で、「内蔵メモリー」または「SDカード」を選ぶ。
- ③ オプションメニュー → 「フォルダ作成」を選ぶ。
- ④ フォルダ名をテンプレートから選んで決定する。
フォルダが追加されます。

フォルダやファイルの名前を変更する

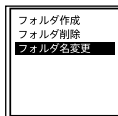
ホームメニューの「 録音したファイル」内のフォルダとファイルの名前を変更できます。

フォルダの場合はテンプレートから変更するフォルダ名を選べます。

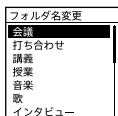
ファイルの場合はテンプレートから文字や記号を選択して、ファイル名の先頭に追加できます。



- ① ホームメニュー → 「 録音したファイル」→ ファイルの検索方法を選び、名前を変更したいフォルダまたはファイルを選ぶ。



- ② オプションメニュー → 「フォルダ名変更」または「ファイル名変更」を選ぶ。



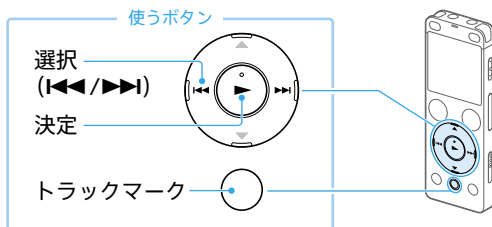
- ③ テンプレートからお好みのフォルダ名またはファイル名の先頭に追加したい文字、記号を選ぶ。

- ・ 音楽のフォルダ／ファイルは、操作できません。
- ・ 保護設定されているファイルは、操作できません。保護設定を解除してから操作してください(48 ページ)。
- ・ パソコンを使用すると、フォルダ名やファイル名を任意のものに変更することもできます。

トラックマークを使う

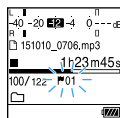
トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。



- 1 録音中／再生中／録音一時停止中／再生停止中に、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

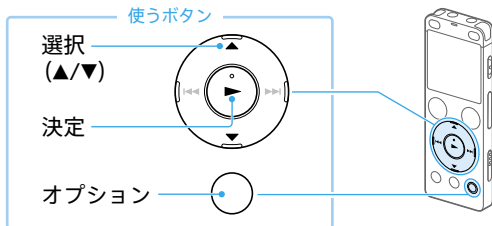
トラックマークが設定されます。



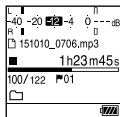
- ・保護設定されているファイルは、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください(48 ページ)。
- ・トラックマークを付けた位置を探して聞くには、停止中／再生中に、選択ボタンを押します。
- ・トラックマーク一覧から目的の再生位置をすばやく探すこともできます(35 ページ)。
- ・録音中に指定した間隔で自動的にトラックマークを付けられます(28 ページ)。

トラックマークを削除する

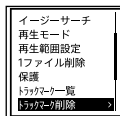
現在位置のトラックマークやすべてのトラックマークを削除します。



- 1 現在位置のトラックマークを削除する場合は、ファイルを選び削除したいトラックマーク位置の後で停止する。
すべてのトラックマークを削除する場合は、ファイルを選ぶ。

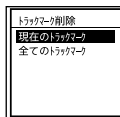


- 2 オプションボタンを押し、「トラックマーク削除」を選ぶ。



- 3 「現在のトラックマーク」または「全てのトラックマーク」→「はい」を選ぶ。

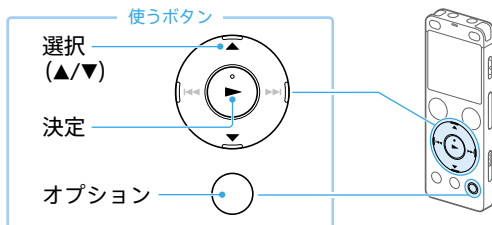
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、トラックマークが削除されます。



- ・保護設定されているファイルは、トラックマークを削除できません。保護設定を解除してから操作してください(48 ページ)。
- ・録音停止画面では、トラックマークを削除できません。ホームメニューを表示して、トラックマークを削除したいファイルを選んでから操作してください。

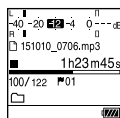
ファイルを分割する

選んでいる位置やトラックマーク位置でファイルを分割できます。

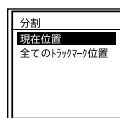


- 1 分割したいファイルを選び、位置を指定する場合は、分割したい位置で再生を停止する。

トラックマーク位置で分割する場合は、分割したいファイルを選ぶ。

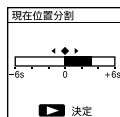


- 2 オプションボタンを押し、「分割」→「現在位置」または「全てのトラックマーク位置」を選ぶ。



- 3 「現在位置」を選んだ場合は、分割のプレビュー画面で分割位置を確認して決定し、「はい」を選ぶ。「全てのトラックマーク位置」を選んだ場合は、「はい」を選ぶ。

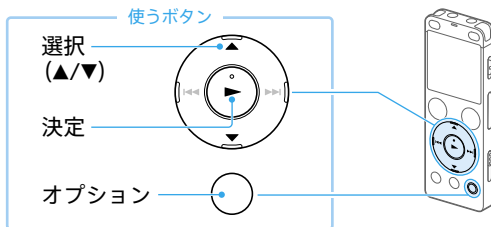
分割されたファイルは、末尾に「_01」、「_02」というように連番が振られます。



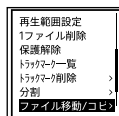
- ・ 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください(48 ページ)。
- ・ ファイルの先頭や終端から近い位置にあるトラックマークは、分割されずにファイルに残る場合があります。

フォルダ内のファイルを整理する (ファイル移動/ファイルコピー)

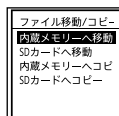
選んだファイルをお好みのフォルダに移動またはコピーできます。



- 1 再生停止中にオプションボタンを押して、「ファイル移動/コピー」を選ぶ。



- 2 移動先またはコピー先を選び、選択する。



- 3 フォルダを選び、選択する。
「しばらくお待ちください」と表示され、移動先/コピー先フォルダにファイルを移動/コピーします。

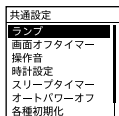


- ・「♪ミュージック」内のファイルは、移動またはコピーできません。
- ・保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください(48 ページ)。
- ・移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。
- ・コピーすると、ファイルは同じファイル名でコピーされます。

各種設定を変更する

動作表示ランプの点灯・消灯を設定する(ランプ)

「オン」に設定すると動作中に動作表示ランプが点灯・点滅します。

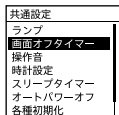


ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「ランプ」 → 「オン」または「オフ」を選ぶ。

パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても動作表示ランプは点灯・点滅します。

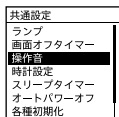
画面表示を自動的に消す(画面オフタイマー)

お買い上げ時の設定では、電池の消耗を抑えるために「画面オフタイマー」が「30秒」に設定されています。操作をしないまま約30秒経過すると、画面表示が消えます。画面表示が消えた状態でも、ボタン操作を行うことができます。画面を表示したいときは、戻る／ホームボタンを押します。



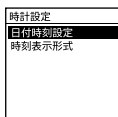
ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「画面オフタイマー」 → 「画面を消さない」または画面オフになるまでの設定時間を選ぶ。

操作音の設定をする(操作音)



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「操作音」 → 「オン」または「オフ」を選ぶ。

時計を合わせる



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「時計設定」 → 「日付時刻設定」を選ぶ。

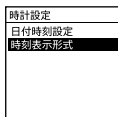
▲または▼ボタンを押して、年の数字(西暦)を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。

「分」の数字を選び、▶ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

時刻表示の形式を選ぶ

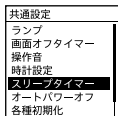
24時間表示と12時間表示を切り替えます。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「時計設定」 → 「時刻表示形式」 → 「12時間」または「24時間」を選ぶ。

スリープタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的にICレコーダーの電源が切れます。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「スリープタイマー」 → お好みの時間を選ぶ。

- ・ オートパワーオフ機能が設定されているときは、スリープタイマーの設定時間の前に電源が切れることがあります。
- ・ 録音中や録音開始タイマーを設定中でも、スリープタイマーの設定時間が経過すると電源が切れます。

電源が自動に切れるまでの時間を設定する(オートパワーオフ)

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的にICレコーダーの電源が切れるように設定できます。オートパワーオフ機能は、ICレコーダーが停止状態で、操作をしないまま設定した時間が経過したときに働きます。

共通設定
ランプ
画面オフタイマー
操作音
時計設定
スリープタイマー
オートパワーオフ
各種初期化

ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「オートパワーオフ」 → お好みの時間を選ぶ。

- ・「録音開始タイマー」のカウントダウン中は、「オートパワーオフ」の設定時間が経過しても、電源は切れません。
- ・選べる時間は以下のとおりです。
5分、10分、30分、60分
「オフ」を選ぶとオートパワーオフは働きません。

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す(設定初期化)

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

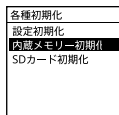
各種初期化
設定初期化
内蔵メモリー初期化
SDカード初期化

- ① 録音停止中または再生停止中にホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「各種初期化」 → 「設定初期化」を選ぶ。
- ② 確認画面で「はい」を選ぶ。

- ・ FMラジオ受信中、FMラジオ録音中は「設定初期化」の操作はできません。
- ・「時計設定」、「地域設定」、「プリセットリスト」、「放送局名変更」については初期化されません。

データを初期化する(内蔵メモリー初期化／SDカード初期化)

内蔵メモリーまたはmicroSDカード内すべてのデータを削除し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

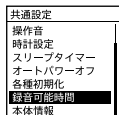


- ① 録音停止中または再生停止中にホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「各種初期化」 → 「内蔵メモリー初期化」または「SDカード初期化」を選ぶ。
- ② 確認画面で「はい」を選ぶ。

- ・ 内蔵メモリーまたはmicroSDカードを初期化すると、保存されていたすべてのデータが削除されます。(保護したファイルやSound Organizer 2も削除されます。) 一度削除した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- ・ Sound Organizer 2は、ICレコーダー サポート・お問い合わせページからダウンロードできます。詳しくは、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)をご覧ください。

録音可能時間を確認する

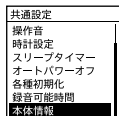
録音可能な残り時間を表示します。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「録音可能時間」を選ぶ。

本体情報を確認する

本体の型名、本体のソフトウェアのバージョンを表示します。



ホームメニュー → 「 各種設定」 → 「共通設定」 → 「本体情報」を選ぶ。

パソコンを活用する

ICレコーダーとパソコンを接続すると、以下のような便利な機能が使えます。

Sound Organizer 2でファイルを管理・編集する (「Sound Organizer 2を使う」(別冊))

ソフトウェアSound Organizer 2を使って、ICレコーダーで録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルをICレコーダーに転送したりできます。

本機種は、Sound Organizer 1.6と接続することはできません。

Sound Organizer 1.6をお使いの方も、必ずSound Organizer 2をインストールしてお使いください。

USBメモリーとして利用する

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存できます。

パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、72ページ、またはヘルプガイド(66 ページ)をご覧ください。

パソコン上で見えるフォルダとファイルの構成はヘルプガイド(66 ページ)をご覧ください。

困ったときは

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。

「症状から調べる」(61ページ)の各項目で調べる。

パソコンを利用できる場合

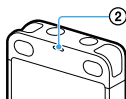
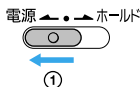
- ヘルプガイドで調べる (66ページ)
- ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる (82ページ)
- Sound Organizer 2のヘルプで調べる
(「Sound Organizer 2を使う」(別冊))

充電する。

充電すると問題が解決することがあります。

リスタートする。

リスタートすると問題が解決することがあります。
電源・ホールドスイッチを「電源」の方向へスライドさせたままの状態を8秒間維持します(①)。画面が消えたら、リスタートが行われるので、電源・ホールドスイッチから指を離してください。動作中にリスタートすると、ICレコーダーに保存しているデータや設定が削除される場合がありますので、動作表示ランプ(②)が消えていることを確認してから操作してください。



上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口 (83ページ) またはお買い上げ店に相談する。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

症状から調べる

ノイズ

ノイズが多く聞き取りにくい。

- 音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。
再生時に、クリアボイス機能を「クリアボイス1」または「クリアボイス2」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします(33ページ)。
全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生できます。
ただし、内蔵スピーカーで再生しているときや、「♪ミュージック」内のファイル再生時は、クリアボイス機能は働きません。

ノイズを少なく録音したい。

- 録音フィルター機能の[NCF(Noise Cut)]または,[LCF(Low Cut)]を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます(26ページ)。
また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り替えることができます(23ページ)。

録音

カサカサという音が録音されている。

- 録音したとき、ICレコーダーに手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。
録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。

ジリジリという音が録音されている。

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
ICレコーダーを離して録音してください。

録音が途中で止まる。

- VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください(27ページ)。

電源

電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。

- 内蔵充電式電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください。
- 電源がオフになっています。画面が表示されるまで、電源・ホールドスイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります(10ページ)。
- ホールドがオンになっています。電源・ホールドスイッチを中央位置にスライドさせてください(12ページ)。

電源が自動的に切れる。

- 停止状態で操作をしないまま放置していると、オートパワーオフ機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。)メニューでオートパワーオフの設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます(57ページ)。
- スリープタイマーで設定された時間が経過すると自動的に電源が切れます(56ページ)。(お買い上げ時は、設定は「オフ」になっています。)

電池の持続時間が短い。

- 「画面オフタイマー」が「画面を消さない」になっています。
操作しない状態から画面表示を消すまでの時間(15秒、30秒、1分、3分、5分)を選択することで、電池の消耗を抑えることができます(12ページ)。
- 71ページの電池の持続時間は、音量レベルを27で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、電源を切る(10ページ)ことをおすすめします。また、オートパワーオフの設定時間(57ページ)を短くしておく、切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
- 充電を開始すると、短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量がない状態からフル充電までは約2時間30分かかります。
- 長い間使用していなかった場合は、何回か充電、放電(ICレコーダーを動作させる)を繰り返してください。
- 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。
- 内蔵充電式電池が劣化しています。
充電式電池は、お使いの環境にもよりますが約500回の充電が可能です。十分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の半分ほどになったときは電池が劣化しています。ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

充電

充電できない。

- 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは充電できません。
- パソコンからICレコーダーを取り外し、再度接続してください。
- ICレコーダーのUSB端子が正しく接続されていません。
- 周囲温度が5℃～35℃の環境で充電してください。

再生

再生音量が小さい。

- 内蔵スピーカーは録音結果の簡易確認用のため、音声が小さかったり、聞きづらいことがあります。その場合は、別売りのヘッドホンを使用してください。
- 録音されている音量が小さい場合があります。録音時に、マイク感度の設定や、「シーンセレクト」で用途に合わせた録音シーンを選んでいるかを確認してください(23ページ)。

再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。

- DPC(速度調節)の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。DPC(速度調節)の設定を「オフ」にすると、通常で再生されます。または、DPC(速度調節)の設定で再生スピードを調節してください(33ページ)。

内蔵スピーカーから音が出ない。

- ヘッドホンをつないでいます。ヘッドホンを抜いてください。
- FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「ヘッドホン」に設定されています。「スピーカー」に切り換えてください(41ページ)。

ヘッドホンをつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

- 別売りのヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないと内蔵スピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。
- FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「スピーカー」に設定されています。「ヘッドホン」に切り換えてください(41ページ)。

編集

ファイルを分割できない。

- メモリーに一定の空き容量がありません。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。
- ICレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。

表示

録音日時表示が「----/--/--」または「--:--」になる。

- ICD-UX560F/ICD-UX565F以外の機種で録音したファイルは、録音日時の記録方法が異なるため、録音日時が表示されない場合があります。

画面表示がすぐに消える。

- 「画面オフタイマー」で、画面表示が消えるまでの時間を変更することができます。「画面を消さない」にすると、電池の消耗が早くなります（12ページ）。

ファイル

「メモリーが一杯です」のメッセージが表示され、録音できない。

- メモリーがいっぱいになっています。不要なファイルを削除する（46ページ）か、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

「ファイルが一杯です」のメッセージが表示され、操作できない。

- 内蔵メモリーおよびmicroSDカード内のフォルダとファイルの総数が5,000件を超えた場合、録音やファイルコピーはできません。不要なファイルを削除するか、別のmicroSDカードもしくはパソコンに保存してから、ファイルを削除してください。

パソコン

パソコンで認識しない。

パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。

- パソコンからICレコーダーを取り外し、再度接続してください。
- 別売りのUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、ICレコーダーを直接接続してください。
- ICレコーダーが対応しているシステム構成（72ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。
- お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

FMラジオ

内蔵スピーカーから音が出ない。

- FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力設定」が「ヘッドホン」に設定されています。「音声出力設定」を「スピーカー」にしてください(41ページ)。

ヘッドホン(別売り)をつないでいても、内蔵スピーカーから音が出る。

- FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力設定」が「スピーカー」に設定されています。「音声出力設定」を「ヘッドホン」にしてください(41ページ)。

FMラジオ受信中、音声小さい、または音質がよくない。

- テレビから離してお使いください。

FMラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。

- 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオ受信中は、テレビから離れてください。

FMラジオの放送局を受信できない、雑音聞こえる。

- ヘッドホン(別売り)をつないでいません。ヘッドホンがFMアンテナの役割をします。ヘッドホンを⌚(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、コードをのばしてください。

FMラジオ放送がプリセット登録できない。

- FMラジオ放送局が30件登録されています。プリセット登録を解除してください(44ページ)。
- メニューの「スキャン感度」が「低(SCAN L)」に設定されています。「スキャン感度」設定を「高(SCAN H)」にしてください(41ページ)。

サポートページ／ヘルプガイドについて

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、
ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ
(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)でトラブルの解決方法や最新
情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- ☐ Q&A (よくある問い合わせ情報)
- ☐ ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- ☐ 製品別サポート情報
- ☐ Sound Organizer 2のソフトウェアの使いかた
- ☐ 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- ☐ 製品登録(製品登録へのご案内)
- ☐ Sound Organizer 2やヘルプガイドのダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ
(<http://rd1.sony.net/help/icd/u56/ja/>)で見ることができます。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(83ページ)、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修・性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

その他

主な仕様

ICレコーダーの仕様

容量*1*2 (ユーザー使用可能領域)	• ICD-UX560F : 4 GB (約3.20 GB = 3,435,973,837 Byte) • ICD-UX565F : 8 GB (約6.40 GB = 6,871,947,674 Byte)
最大録音ファイル数 (1フォルダ内)	199ファイル
最大ファイル数	5,000ファイル (フォルダ数を含む)
周波数範囲	• LPCM 44.1 kHz/16 bit: 50 Hz ~ 20,000 Hz • MP3 192 kbps: 50 Hz ~ 20,000 Hz • MP3 128 kbps: 50 Hz ~ 16,000 Hz • MP3 48 kbps (MONO): 50 Hz ~ 14,000 Hz
対応ファイルフォーマット	MP3 *3*4 • ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応 • サンプリング周波数: 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz • 拡張子: .mp3
	WMA *3*5 • ビットレート: 32 kbps ~ 192 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応 • サンプリング周波数: 44.1 kHz • 拡張子: .wma
	AAC-LC *3*6 • ビットレート: 16 kbps ~ 320 kbps、 可変ビットレート (VBR) 対応 • サンプリング周波数: 11.025/12/16/22.05/24/32/ 44.1/48 kHz • 拡張子: .m4a
	LPCM *3 • 量子化ビット数: 16 ビット • サンプリング周波数: 44.1 kHz • 拡張子: .wav
FMラジオ受信周波数	76.0 MHz ~ 108.0 MHz IF 128 kHz

FMアンテナ	ステレオヘッドホンコードアンテナ (別売り)
内蔵スピーカー	直径16 mm
入・出力端子	- 外部入力 (ステレオミニジャック) プラグインパワー対応 最小入力レベル : 1.0 mV - ヘッドホン (ステレオミニジャック) 推奨負荷インピーダンス : 16 Ω - USB端子 (USB Type-A端子) High-Speed USB対応 - カードスロット microSD対応スロット
再生スピード調節 (DPC)	3.00倍速 ~ 0.25倍速: MP3/WMA/AAC-LC/LPCM
実用最大出力	150 mW
電源	DC 3.7 V、内蔵リチウムイオン充電式電池
動作温度	5 °C ~ 35 °C
最大外形寸法 (最大突起部含まず)	約36.6 mm × 101.5 mm × 10.5 mm (幅/高さ/奥行き) (JEITA ^{*7})
質量	約52 g (JEITA ^{*7})
付属品	6ページ参照
別売アクセサリ	- エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CZ10、ECM-CS3、ECM-TL3 - USB ACアダプター AC-UD20 - USBポータブル電源 最新の対応機器は http://www.sony.jp/battery/search/ をご覧ください。

^{*1} メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

^{*2} ICレコーダーで内蔵メモリーを初期化した場合

^{*3} すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

^{*4} これに加えてICレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。

^{*5} WMA Ver.9には準拠していますが、MBR (Multi Bit Rate)、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。

^{*6} 著作権保護されたファイルは再生できません。

^{*7} 電子情報技術産業協会 (JEITA) の測定方法に基づいています。

ICレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間

録音モード、録音シーンの設定別で、最大録音時間*1*2を記載しています。
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード (録音シーン*3)	内蔵メモリー	
	ICD-UX560F	ICD-UX565F
LPCM 44.1kHz/16bit	5時間20分	10時間45分
MP3 192kbps ( /  /  /  /  / )	39時間45分	79時間30分
MP3 128kbps ( / )	59時間35分	119時間
MP3 48kbps (MONO)	159時間	318時間

録音モード (録音シーン*3)	メモリーカード				
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
LPCM 44.1kHz/16bit	6時間 5分	12時間 10分	24時間 20分	48時間 40分	97時間 20分
MP3 192kbps ( /  /  /  /  / )	44時間 40分	89時間 25分	178時間	357時間	714時間
MP3 128kbps ( / )	67時間 5分	134時間	268時間	536時間	1,073時間
MP3 48kbps (MONO)	178時間	357時間	715時間	1,431時間	2,862時間

*1 連続録音の場合は、付属のUSB AC アダプター (ICD-UX565Fのみ) または別売りのUSB AC アダプターが必要になります。

詳しくは電池の持続時間 (71 ページ) をご確認ください。

*2 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

*3 お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数*

ビットレート	ICD-UX560F		ICD-UX565F	
	再生時間	曲数	再生時間	曲数
128 kbps	59時間35分	893ファイル	119時間	1,785ファイル
256 kbps	29時間45分	446ファイル	59時間35分	893ファイル

* パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

内蔵充電式電池の持続時間*¹

録音モード	録音時	内蔵スピーカー再生時* ²	ヘッドホン再生時	FMラジオ録音時
LPCM 44.1 kHz/16 bit	約23時間	約5時間	約30時間	—
MP3 192 kbps	約27時間	約5時間	約45時間	約8時間
MP3 128 kbps	約27時間	約5時間	約45時間	約8時間
MP3 48 kbps (MONO)	約27時間	約5時間	約45時間	約8時間
音楽ファイル (MP3 128kbps)	—	約5時間	約45時間	—
FMラジオ受信	—	—	約8時間	—

*¹ 電子情報技術産業協会 (JEITA) 規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

*² 音量レベルを27に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合

充電時間

電池残量がない状態からフル充電までは約2時間30分かかります。

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

Sound Organizer 2をお使いの場合は、「Sound Organizer 2を使う」(別冊)またはヘルプガイド(66 ページ)をご覧ください。

OS

- Windows 10 Home / Windows 10 Pro / Windows 8.1 / Windows 8.1 Pro / Windows 8 / Windows 8 Pro / Windows 7 (Service Pack1以降) / Windows Vista (Service Pack2以降)
- Mac OS X (v10.6 ~ v10.10)

■ ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、82ページに記載のICレコーダー サポート・お問い合わせページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

■ ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

使用上のご注意

使用場所について

運転中の使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。ICレコーダーの故障の原因となります。
- ICレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - － ICレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
 - － ICレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
 - － 温度が非常に高いところ (60℃以上)。
 - － 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - － 窓を閉めきった自動車内 (特に夏期)。
 - － 風呂場など湿気の多いところ。
 - － ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ICレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合、ご注意ください。
 - － 洗面所などでICレコーダーをポケットに入れての使用。
身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
 - － 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
 - － 汗をかく状況での使用。
濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにICレコーダーを入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にICレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

ICレコーダーを廃棄するときのご注意

廃棄するときは、内蔵メモリーの初期化(58 ページ)を行い、すべてのデータを削除してください。



Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。
この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。 (「ソニーの相談窓口」の連絡先は83ページに記載されています。)

microSDカードのご使用について

- 初期化は必ず本機で行ってください(58 ページ)。パソコンなど本機以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
- microSDカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」、「初期化中...」のアニメーションが表示されている間や、動作表示ランプがオレンジに点滅している間はmicroSD カードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。
- ROMタイプのmicroSDカード、誤消去防止、書込み禁止のmicroSDカードは、使用できません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - －読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
 - －静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所ではお使いにならないでください。
 - －使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - －湿気が多い場所や腐食性のある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。
- ラベルなどを貼らないでください。
microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

火の中に入れない



禁止

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。

そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。



禁止

充電式電池が液漏れしたときには、素手で液を触らない

液が本体内部に残ることがあるため、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



禁止

乳幼児の手の届くところに置かない

クリップやウインドスクリーンは呑み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などの障害の原因になるため、直ちに医師にご相談ください。



禁止



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機で録音された音声ファイルには、著作権保護技術は使用されていません。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されています。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。

著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizer 2は、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本機は、Fraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術特許に基づく許諾製品です。

- microSD、microSDHCおよびmicroSDXCロゴはSD-3C, LLC. の商標です。



その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本文中では®、™ マークは明記していません。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

ライセンスについて

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。

当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、ICレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。ICレコーダーとパソコンをマストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様はGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、ICレコーダーの内蔵メモリー内に記録されています。ICレコーダーとパソコンをマストレージ接続し、「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

索引

数字、アルファベット順

1ファイル削除.....	46
AAC-LC.....	68
A-Bリピート.....	35
DPC (Digital Pitch Control).....	33
FMラジオ.....	38
LCF (Low Cut).....	26
LPCM.....	68
microSDカード.....	13, 58
MP3.....	68
Myシーン.....	24
NCF (Noise Cut).....	26
USB ACアダプター.....	9, 69
VOR (Voice Operated Recording) ..	27
WMA.....	68

五十音順

あ行

アフターサービス.....	67
イージーサーチ.....	34
イージーサーチ間隔設定.....	34
エフェクト.....	37
オートパワーオフ.....	57
オートプリセット.....	45
お手入れ.....	74
オプションメニュー.....	16, 18
音声出力選択.....	41
音量調節.....	32

か行

外部入力設定.....	26
書き起こし用再生.....	35
各種設定.....	15, 17, 55
各部のなまえ.....	7

画面オフタイマー.....	12, 55
キュー.....	34
クリアボイス.....	33
現在位置分割.....	53
現在のトラックマーク.....	52
困ったときは.....	60

さ行

再生.....	32
再生モード.....	36
最大録音時間.....	70
削除.....	46, 47
シーンセレクト.....	23
時刻表示形式.....	56
システム構成.....	72
自動トラックマーク.....	28
充電.....	8, 63
修理.....	67
仕様.....	68
使用上のご注意.....	73
シンクロ録音.....	30
スキャン感度.....	41
全てのトラックマーク.....	52
全てのトラックマーク位置.....	53
スリープタイマー.....	56
設定初期化.....	57
操作音.....	11, 55

た行

他の機器で録音.....	31
地域設定.....	38, 44
電源を入れる.....	10
電池の持続時間.....	62, 71
電池マーク.....	8
電話録音用マイクロホン.....	28, 29

動作表示ランプ	8, 20, 55
時計設定	11, 56
トラックマーク	51
トラックマーク一覧	35
トラックマーク削除	52
トラックマーク追加	51

な行

内蔵充電式電池	71
内蔵マイク	20
内蔵マイク感度設定	25
内蔵メモリー	58
ノイズ	22, 61

は行

パソコンにつなぐ	8
パソコンを活用する	59
ファイル	32, 49
ファイル移動	54
ファイルコピー	54
ファイル削除	46
ファイル情報	37
ファイル名変更	50
フォルダ	49
フォルダ削除	47
フォルダ作成	49
フォルダ名変更	50
プリセット選局	40
プリセットリスト選択	44
分割	53
編集	46, 64
放送局名変更	45
ホームメニュー	14
ホールド	12
保護	48
保証書	67
本体情報	58

ま行

マニュアルスキャン選局	40
メニュー	14

ら行

リスタート	60
レビュー	34
録音	20
録音開始タイマー	27
録音可能時間	58
録音先フォルダ	43
録音時間	70
録音情報	26
録音フィルター	26
録音モード	25, 43

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには
→ ICレコーダー サポート・お問い合わせへ
(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)

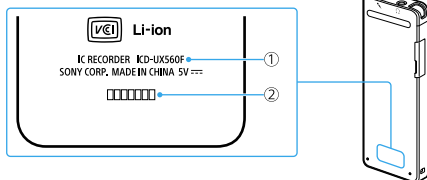
ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

- 電話・FAXでのお問い合わせは
→ ソニーの相談窓口へ
(83ページに記載の電話・FAX番号)

本機の商品カテゴリーは「ICレコーダー」です。
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：

- 型名 (①)：ICD-UX560F または ICD-UX565F
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- シリアルナンバー (②)：本体裏面に記載
- お買い上げ年月日



ソフトウェアに関連するご質問時：

質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。

上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

..... 0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話

..... 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル

..... 0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話

..... 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談は
こちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 4 5 7 3 9 3 1 0 2 * (1)